



「新年に誓う」

校長 金山 達也

学校便りの1月号は、「新年に〇〇」というテーマで綴ってまいりました。1年の計は元旦にありという意味からも、今年をどんな気持ちで過ごすのかを、私なりに現在の心境や今年1年の覚悟を書いています。

令和7年の始まりは天候も比較のおだやかであったと感じます。雪はねも少なく、残念ながら運動不足解消とはなりません。しかし、ちょうど1年前に起きた能登半島地震で被災された方のご苦勞は1年たった今でも続いている現状を報道を通じて知るお正月でもありました。そのような中で、1月17日、3学期の始業式を実施。令和6年度の締めくくりとしての3学期、令和7年度の準備としての3学期がスタートしました。

植村生徒会長からは、3学期の抱負が全校生徒に対するメッセージとして語られ、入試を控える3年生に向けた励ましの言葉もありました。その後、各学年代表の生徒からも冬休みの振り返りと今後の学校生活の充実に向けた力強い言葉を聞くことができました。（毎回、校長あいさつとかぶらないように考えるのが大変です・・・うれしい悲鳴です）

私からは、ノーチャイムについてふれました。今から7年ほど前、生徒会が中心となって、スタートしたノーチャイムの取組が実施されるまでの経緯を話し、今現在進めている生活のきまりの見直しに重ねてみました。生徒会による取組原案の作成から始まり、学級での検討、試行期間の設定、更なる意見の集約、改善策の検討、そして本格実施へつながったことを話しました。

先行きが不透明な現代社会を生き抜くために、生きる力の育成が叫ばれています。自分を取り巻く環境をよりよくするための力もその中の一つです。今あるものをそのまま受け入れるのではなく、「なぜ?」「必要?」を考え、物事の本質を捉えようとする力が必要です。「この情報は本当なのか?」「これを実施しても大丈夫なのか?」など、物事を時に批判的に捉えようとすることで、客観的な見方や考え方などができるようになり、善悪の判断はもちろんのこと、より柔軟な生き方につながっていきます。「なるほど、だからやらなきゃいけないだ!」しっかりと検討し納得できてはじめて真の力になります。

(始業式のあいさつに戻ります)「ノーチャイムという言葉はよく耳にしますが、当時の生徒会が示した取組名には続きがあります。その言葉はノーレイトです。レイトは『遅い』という意味がありますので、『チャイムが鳴らないから、遅れないように早く行動しよう!』そんな意味がこの取組に込められています」と伝えました。

私の今年のおみくじは末吉で、何事にも慎重にということが書かれていましたが、「やらない後悔より、やって成功!」(ある漫才師のパクリです)をモットーに2025年をスタートしたいと思います。

【保護者の皆様へ】

令和7年がスタートしました。1年間の締めくくりとしての3学期をこれまで以上に、生徒を主役として、教職員一丸となってサポートします。同時に、4月からの令和7年度に向けて、保護者の皆様のご理解を得ながら、教育活動の充実に尽力したいと思います。今後ますますのご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年度学校評価保護者アンケート

保護者の皆様にご協力いただいた本年度の学校評価保護者アンケートの集計、分析がまとまりましたので、ご報告いたします。

いくつかの項目で、中間評価よりポイント数が下降しており、改善に向けた具体的な手立てを検討します。「学習習慣」につきましては、ポイントが低めですが、昨年度と比較すると上昇傾向にあります。さらに意識の向上や授業とのつながりを重視していきたいと思えます。

一方、「生徒理解」「進路」については、中間よりポイント数の上昇が見られました。引き続き、生徒達の思いに寄り添い、一緒に考えていく姿勢を大切に、教育活動を進めてまいりたいと思っています。

今年度も、多くの保護者の皆様からご回答をいただきました。引き続き、本校に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

全国体力・運動能力調査の結果について

2学年を対象として、4月～6月に実施した標記調査の結果が届きました。9種目のうち、男子は5種目(握力、上体起こし、反復横跳び、50m走、ハンドボール投げ)で、女子も5種目(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、50m走)で全国の平均を上回り、女子は合計得点においても全国の平均を上回りました。また男女とも「体を動かすのが好きだ」という回答が多く、主体的に運動する下地ができていることがわかりました。

各個人の結果シートを、保健体育の時間に配布しますので、お子様の結果を確認していただければと思います。

